

社会資本総合整備計画書(第3回変更)

ちゅうしんとしきょてんちくとしさいせいせいびけいかく
むつ中心都市拠点地区都市再生整備計画

あおもりけん
青森県 し
むつ市

令和3年1月

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月18日

計画の名称	むつ中心都市拠点地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和03年度 (4年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	むつ市											
計画の目標	全国的な人口減少・少子高齢化の進行や都市のスポンジ化の進行により、地域の活力の低下や自治体財政の縮小などが見込まれ、持続可能なまちづくりが急務となっている。 このような中、医療、福祉、商業、教育、行政などの都市機能が集積している本地区において、都市再生特別措置法に基づく都市再生協議会や都市再生推進法人との連携や、 公募設置管理制度（Park-PFI）の活用による民間事業者との連携など、官民連携を軸にした事業を展開し、魅力ある都市空間の整備を行うことで、都市機能の高度化及び 居住環境の向上を図り、エリア価値の向上や賑わいと稼ぐ力の創出を目指す。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	3,738	A	3,738	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)		(R3末)
1	むつ地区居住誘導区域の人口密度37.6人/ha（H29）を維持 むつ地区居住誘導区域内の人口密度を算出する。 居住誘導区域人口/居住誘導区域面積817.7ha	37人/ha	人/ha	37人/ha
2	むつ地区居住誘導区域の宅地評価額9,019円/m2（H29）を維持 むつ地区居住誘導区域内の宅地評価額を算出する。	9019円/m2	円/m2	9019円/m2
3	Park-PFIの活用により民間の稼ぐ力1,200万円/年（R3）を創出 公募設置管理制度（Park-PFI）を活用して設置する民間収益施設における収益を算出する。 指標値=売上高-経常的支出	0万円/年	万円/年	1200万円/年
4	Park-PFIの活用により公園維持管理費60万円/年（R3）を削減 公募設置管理制度（Park-PFI）の活用による公園維持管理費の削減額を算出する。 当初現況値は近隣公園の維持管理費から面積比により算出	60万円/年	万円/年	0万円/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	むつ市	直接	むつ市	-	-	大湊居住誘導地区都市再生整備計画事業	公園、地域生活基盤施設、高次都市施設 A=88ha	むつ市						3,633	-	
	A10-002	都市再生	一般	むつ市	直接	むつ市	-	-	田名部まちなか地区都市再生整備計画	公園、地域生活基盤施設 A=39ha	むつ市						6	-	
	都市構造再編集集中支援事業にR2年度より移行																		
												小計						3,639	
都市公園・緑地等事業	A12-003	公園	一般	むつ市	直接	むつ市	-	-	官民連携型賑わい拠点創出事業(おおみなと臨海公園)	公募対象公園施設(便益施設等)、特定公園施設(広場等)	むつ市						89	-	
	A12-004	公園	一般	むつ市	直接	むつ市	-	-	官民連携型賑わい拠点創出事業(代官山公園)	公募対象公園施設(便益施設等)特定公園施設(便益施設等)	むつ市						10	-	
												小計						99	
											合計						3,738		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	1,435	69			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	1,435	69			
前年度からの繰越額 (d)	0	1,325			
支払済額 (e)	110	1,327			
翌年度繰越額 (f)	1,325	67			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

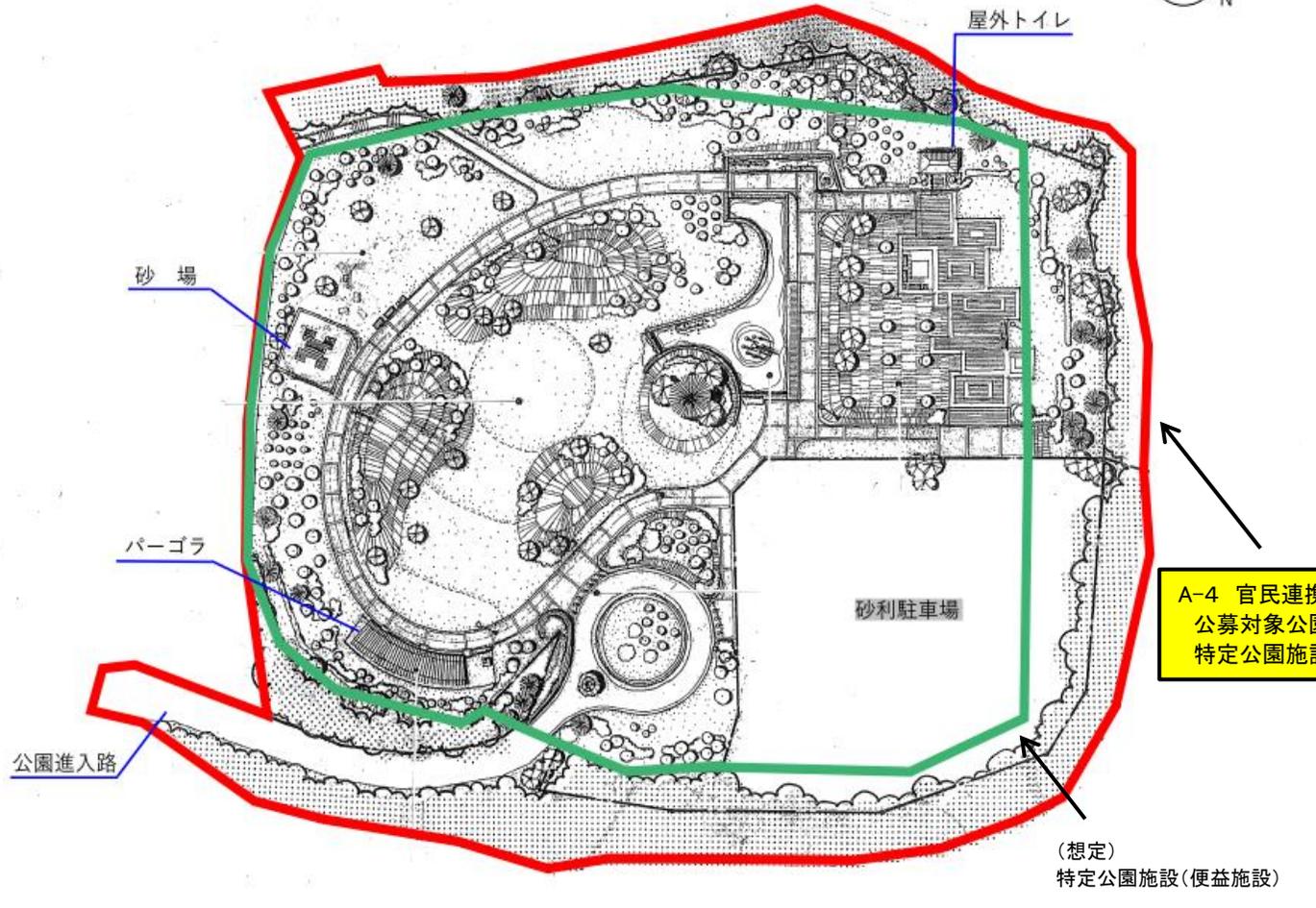
計画の名称： むつ中心都市拠点地区都市再生整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等	
I. 目標の妥当性 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	○
I. 目標の妥当性 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

参考図面(社会資本整備総合交付金)

計画の名称	むつ中心都市拠点地区都市再生整備計画		
計画の期間	令和3年度 ~ 令和3年度 (1年間)	交付対象	むつ市

代官山公園配置図



A-4 官民連携型賑わい拠点創出事業(代官山公園)
 公募対象公園施設(便益施設)
 特定公園施設(便益施設)

凡 例	
	公園区域
	基幹事業